

今年『交通至便な京急蒲田』で開催！

第30回エラストマー討論会のご案内と研究発表募集

会 期：2019年12月9日（月）・10日（火）

会 場：大田区産業プラザPiO（東京都大田区南蒲田1丁目20-20）

協賛団体：日本化学会 高分子学会 日本材料学会 日本複合材料学会 繊維学会 日本接着学会 日本レオロジー学会
（予 定） マテリアルライフ学会 プラスチック成形加工学会 日本トライボロジー学会（順不同）

エラストマー材料の合成、構造、物性から応用に至るまでいろいろなことが明らかになってきました。今こそ、エラストマー関連の科学者や技術者が一同に会して議論する時です。エラストマー討論会はその最高の場を提供します。ゴム・エラストマー・ソフトマテリアルに興味を持つ人、好きな人、利用したい人、売りたい人、考え方を聞いて欲しい人、聞きたい人、化学屋さん、物理屋さん、機械屋さん、電気屋さん、あらゆる方々のご参集をお待ちしております。

研究発表は従来どおり口頭発表とポスター発表といたしますが、口頭発表には2015年年次大会以降の研究発表会と同じくトピックテーマによる討論の場も設け、また今回も英語セッションを設置いたしました。なお、口頭発表はこれまでと同様に若手発表の部（申込時35歳以下）を設け、若手発表とポスター発表には優秀発表賞を授与し、ミキサーの場で表彰いたします。

また、最も優れた研究発表に贈られるCERI最優秀発表論文賞も引き続き授与されます。

研究発表は、より有意義な討論を目指す目的で、

以下の発表形式といたします。

多数のご発表をお待ちしております。

1. 研究発表は口頭発表（若手・一般）とポスター発表（共通）の両形式で行います。発表言語は英語または日本語とします。なお、若手とポスターは初日に、一般は2日目に行います。また、若手とポスターは発表件数に制限がありますので、お早めにお申し込みください。（同じ発表内容を口頭／ポスターの両方で発表することも可能です）。

2. 発表内容はゴム・エラストマー・ソフトマテリアルに関するものであれば構いません。また、既発表のものを含んでいても差し支えありませんが、十分に討論する価値のあることが必要です。

3. 発表テーマの選択について

今回の一般発表は、以下の2つの方法で行います。

1) 従来どおりの方法での発表

以下の①～⑳から適切なテーマをお選びください。

①合成・重合、②構造、③物性、④分析法・解析評価法、⑤新材料、⑥ナノテクノロジー、⑦シミュレーション、⑧熱可塑性エラストマー、⑨配合、⑩練り、⑪成形加工、⑫接着・粘着、⑬金型、⑭劣化・寿命・信頼性、⑮トライボロジー、⑯リサイクル・グリーンケミストリー、⑰衛生・アレルギー・ヘルスケア、⑱エネルギー関連、⑲その他、

⑳新製品・新技術の紹介（ポスター発表のみ）

※⑳は表彰の対象とはなりません。企業名・商品名を用いても構いません。

2) トピックテーマでの発表

上記の一般発表とは別に「植物由来・生分解」と「中堅・中小ゴム会社の取り組みと強み」をトピックテーマとしたセッションを設け、特定のテーマに特化した討論を行います。このセッションでの発表を希望される際、申込時にその旨ご記入ください。

※この発表セッションは一般発表のみとなります。若手発表ならびにポスター発表は対象となりません（若手発表は、上記「1）従来どおりの方法」のテーマからお選びください）。

※「1）従来どおりの方法」でお申込みいただいた一般発表でも「2）トピックテーマ」発表に変更させていただきます。

ただ、こと、およびその逆の変更がございますことをご了承ください。

3) 英語セッションでの発表

今回も「英語セッション」を設置いたします。

英語でご発表される方は、このセッションを選択ください。

4. 口頭発表は液晶プロジェクターを用いて行います。パソコンは各自でご持参ください。

5. 口頭発表の時間は1件あたり20分（発表14分、討論5分、交代1分）の予定です。関連ある継続発表を希望する際は、その順序を①、②とご記入ください（若手と一般を継続することはできません）。

6. 発表者は日本ゴム協会会員（正会員・学生会員）であることが必要です。

研究発表の申込み要領

2019年8月16日（金）までにHP（<http://www.srij.or.jp>）からお申し込みください。

発表申込み受理

1. 発表申込みの採否およびプログラム編成はエラストマー討論会運営委員会にご一任ください。

2. 申込みを受理されたものについては、予稿原稿の書き方を申込者あてにお送りいたします。

予稿原稿

1. 予稿原稿の枚数はA4判2枚です（英文アブストラクト（約150words）を含みます）。また、ポスター発表の予稿原稿はA4判1枚で英文アブストラクトは不要です。

2. 予稿原稿提出はメール添付PDFのみとします。

3. 予稿原稿締切 10月4日（金）事務局必着

ミキサー 第1日目の夕刻に、参加者の交流の場としてミキサーを開催いたします。活発な討論後の憩いの場となりますので、多数の参加をお待ちしております。

参加費：一般（シニアを含む）6,000円（当日申込）7,000円
学生 2,000円（当日申込）3,000円

名誉会員とシルバー会員の方はご招待ですが、お申込みが必要となります。

参加登録 HPの登録フォーム（9月掲載予定）からお申

込みください。早期登録の期限は11月1日（金）となりますのでお早めにお申込みください。

登録費

正会員 8,000円（11/1まで）（11/2以降）12,000円
シニア 4,000円（11/1まで）（11/2以降） 6,000円
学生会員 3,000円（11/1まで）（11/2以降） 4,000円
会員外 14,040円（11/1まで）（11/2以降）19,440円

※会員は不課税、会員外は課税となります。

名誉会員の方の登録費はご不要ですが、ご登録が必要となります。

賛助会員は2名まで正会員扱いといたします。

シニアは60歳以上の正会員（シルバーを含む）でご本

人に限ります。

※研究発表者の方も参加登録が必要です。

送金先

郵便振替「00190-1-48393」

みずほ銀行 虎ノ門支店（普）No.1228682

口座名：一般社団法人日本ゴム協会

※送金手数料は参加者側でご負担ください。

連絡先

〒107-0051 東京都港区元赤坂1-5-26 東部ビル

一般社団法人日本ゴム協会 エラストマー討論会係

TEL：03-3401-2957 FAX：03-3401-4143

E-mail：office@srij.or.jp http://www.srij.or.jp/

第30回エラストマー討論会トピックテーマについて

第30回エラストマー討論会はトピックテーマとして「植物由来・生分解」と「中堅中小ゴム会社」を設け、本テーマに関わる基礎から応用技術まで幅広く活発な議論が行われることを期待しています。本テーマの設定意図は以下のとおりです。会員各位の多数のご発表をお待ちしております。

1. 「植物由来・生分解」

持続可能な開発目標の達成に向け、ゴムの分野でも新規性の高い研究課題に取り組むことが求められています。このような研究課題として注目されているものに「植物由来」および「生分解」があります。本セッションでは、種々の植物から得られる天然ゴム、バイオ由来原料を用いたエラストマー、バイオ由来モノマーの重合、バイオ由来配合剤、天然ゴムの生分解、バイオ由来原料を用いたエラストマーの生分解など、関連する分野からのご発表を期待しております。多数のご発表、ご聴講、活発なご討論をお願いいたします。

2. 「中堅中小ゴム会社」

日本のゴム産業は多くの中堅、中小ゴム会社によって支えられています。今回は東京・大田区の会場で討論会を開催します。この地区には中堅、中小企業がたくさんあります。ゴム技術者不足、製造作業員不足、試験装置不足、新規ユーザー開拓、配合開発、海外進出とさまざまな問題をかかえている中で、大企業にはない工夫、試み、アイデアで、どうやってこの局面を乗り切っていくのか？海外の中堅ゴム会社はどうやっているのか？

またそのための技術、手法、自動化技術、装置など、これらに関連する分野からのご発表を期待しております。多数のご発表、ご聴講、活発なご討論をお願いいたします。